

和日館木樟

しゅもくかんびより ◆ 第二十六号



文化のみち樟木館

Cultural Path Shumokukan

発行日: 2022年9月30日

発行: 文化のみち樟木館

指定管理者: 特定非営利活動法人樟木倶楽部

ときめく館

(2面)「ときめく館より」

何かを語りかけ、
寄り添ってくれることでしょう。

訪れる人それぞれの心に

こみあげたり、

懐かしさに切ない気持ち

わくわくしたり、

どこか可愛いらしく、

静謐ながら

モチーフのそれぞれは、

お屋敷の中の味わい深い

ステンドグラスの図柄や文様、

今もお伝えしています。

往時の暮らしの華やきを

経年の美しさとともに、

時を重ねてこそ馴染んだ

時代を超え

館内各所の装飾や

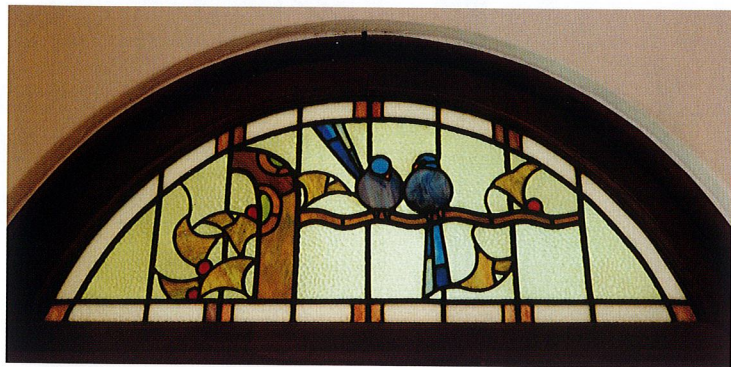
こだわりの設えは、

洋館の玄関ホール右側

洗面所入口上部
ステンドグラス「青い鳥」

ときめく館

文化のみち榎木館は、大正末期から昭和初期にかけて輸出陶磁器の貿易商であった井元為三郎によって建てられた邸宅です。緑豊かな庭園を囲むように、和館と洋館が併設された住宅様式は当時の流行で、洗練されたお屋敷は富の象徴でもありました。館内各所の装飾やこだわりの設計（つら）えは、時代を超え時を重ねてこそ馴染んだ経年の美しさとともに、住時の暮らしの華やきを今もなお伝えていきます。ステンドグラスの図柄や文様、お屋敷の中の味わい深いモチーフのそれぞれは、静謐（せいひつ）ながらもどこか可愛いらしく、わくわくしたり、懐かしさに切ない気持ちがかみあげたり、訪れる人それぞれの心に何かを語りかけ、寄り添ってくれることでしょう。晩秋の榎木館で遠い昔に思いを馳せながら、心ときめく、ゆっくとした時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



洋館の玄関ホール
洗面所入り口上部
「青い鳥」の
ステンドグラス

欧米の幸福の象徴である2羽の青い鳥が、恥じらうように背合わせに、銀杏の木の枝の上で寄り添っています。

この美しい構図が施されたアーチ型のステンドグラスは、洋館の玄関ホール右側の洗面所入口の上部にあります。黄金色に染まった銀杏（いちょう）の葉とぎんなんの赤い実のモチーフが特徴で、榎木館のシンボルとなっています。



洋館の玄関庇に
埋め込まれた
八角の「星形照明」

星形八角形のかたちについては諸説ありますが、この照明のある玄関は、風水や方位学上で運氣が良いとされる南向きに位置されていることから「良い気の招き入れ」へのこだわりであったと考えられます。朝や昼の光がきらりと輝く美しさとは違い、晩秋から真冬にかけての日没後は、瑠璃色の美しい光がくっきりと際立ち、見ているだけで心がときめいてきます。



SHUMOKU CAFE
「オナガドリ」のステンドグラス

喫茶室のサンテラス出入口の欄間には、2羽のオナガドリが仲良く向き合い、シンメトリーに配置されたステンドグラスが陽光を通して美しい光を放っています。（ご入室は、喫茶室ご利用の方に限ります）



洋館2階 ハート柄のない
ステンドグラス

洋館2階展示室の欄間には珍しいトランプ柄やチェスのモチーフのステンドグラスがあります。よく見るとトランプ柄の中で、ダイヤ・スペード、クラブを見つけることはできませんが、ハートが見当たりません。

輸出陶磁器商として財を成した井元為三郎。その富をもとに大正末期に建てられた邸宅が現在の榎木館です。彼の処世訓は、「幸福は我が心にあり」。幸福＝ハートもそれぞれの心のなかにあるもの、なのかもしれません。



東土蔵：蔵鬼瓦（部分アップ）



西土蔵：鍵金具（部分アップ）



窓のねじ締め式鍵（ハートっぽい？）



窓のねじ締め式鍵（三つ葉）



デスク引き出し シェル型引き手



浴室の止め金具

小さな“かわいい”が随所に……さがしてみませんか？

まるでハートの形に
そっくりな
亥の目（猪の目）

亥の目（いのめ）は、古くから邪気を払う魔除けとして、神社仏閣、城、民家などの、金具や瓦に多く使われてきた文様のひとつです。名前の通り、イノシシの目を模したとされるその形は、ハートの形そのものです。榎木館の母屋や蔵の鬼瓦に亥の目が施されています。これらを肉眼では見ることは難しいですが、西蔵正面の鍵金具（分銅型）の中にも、とても小さな亥の目文様が施されています。是非見つけてください。



名古屋まつり協賛

伊勢型紙展

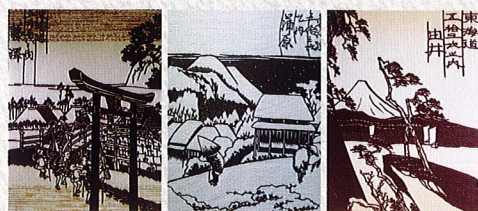
2022 10/14(金)～10/30(日)

「エンジョイ伊勢型紙」

伊勢型紙を愉しもう



歌川広重「東海道五十三次」



伊勢型紙は千年の歴史を持つといわれる伝統工芸で、三重県鈴鹿地方を中心に発展してきました。着物などの型染めとして使われ、細かな手仕事が生む格調高い文様が魅力です。今年のテーマでもある「エンジョイ」とは、作者側はもちろん、ご覧いただく皆様にも展示を通して愉しんでいただけること。作者の感じる人生の喜びや楽しさを型紙に彫ること、そして彫る時の充実感や愉しさを型紙を通して感じていただけたら幸いです。今回共同制作として、歌川広重の「東海道五十三次」を題材に、三十次までを伊勢型紙で表現した作品も展示します。期間中には葉つくりのワークショップ（要事前申込）も開催します。

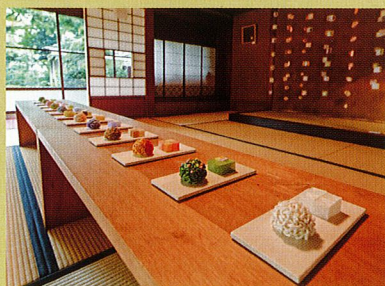
主催：アクトイフエイジ伊勢型紙の会
和楽の会・文化のみち種木館
※詳細は、裏面「文化のみち種木館」催し物暦をご覧ください。



7/10
開館記念
ハル・カルテットコンサート



4/22～5/8
なごや折り紙建築展



9/9～10/10
和紙スイーツ展～たからもの～

文化のみち種木館では、館主催イベントをはじめ、貸室利用によるイベントを年間通しておこなっています。当館では和室・洋室・茶室・蔵・庭をお貸しします。

詳しくは下記の電話番号、ファックス番号へお問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

令和4年度催し物暦（4月～9月）



シェアサイクルサービス
「Charichari(チャリチャリ)」

「チャリチャリ」は、スマートフォンアプリ(注)を使ってご利用いただける1分6円のシェアサイクルサービスです。文化のみち種木館にも駐輪ポートがあります。赤い自転車「チャリチャリ」に乗って文化のみち界隈の施設めぐりをなさってみてはいかがでしょうか。

注：詳しい利用方法はチャリチャリのホームページをご覧ください。
<https://charichari.bike>